

株式会社日本アラーム 営業部営業第一課 課長  
(防犯設備士 第03-9221号)

高橋 幸太



この度は、防犯設備に寄稿させて頂く、機会を頂きまして誠に有難うございます。私は、株式会社日本アラームの高橋幸太です。会社の業務は、防犯、防災設備の設計・販売・施工・保守を行なっております。取扱商品はセンター装置、各種セキュリティ端末、監視カメラ、出入管理、ヘルスケアなどのセキュリティ全般を多岐に渡り扱っております。

私は、営業部としてセキュリティシステムの設計・販売の提案営業を日々行なっております。2003年に現会社に入社をし、7年という月日が経ちました。私は、根っからの文系タイプで、電気？なんぞや、電子機器？なんぞやという感じでしたので今日の自分の姿が7年前には想像出来ませんでした。

さて、私が防犯設備士の資格を取得致しましたのが、2003年です。当社には、入社後研修期間が終わると防犯設備士の資格を取得しないと本採用とはなりません。当社は、営業、技術ともに全員が防犯設備士を取得しております。私は、電気？なんぞやの世界なので、テキストが届いた瞬間にこれは無理だろうと入社を諦めたことを思い出します。

テキストが届いてからは、通勤途中、休日、会社の諸先輩方に教えて頂きながら必死に勉強をしたことを覚えております。大学受験以来の勉強でしたので大変でした。そして無事に合格をし、晴れて正社員採用となり現在に至っております。

私のセキュリティ人生において、非常に素晴らしい出会いがひとつあります。それは、NPO法人神奈川県防犯設備士協会との出会いです。私は、現在協会において理事を勤めさせて頂いております。私と協会の出会いは、2006年です。今では協会は法人化されておりますが、当時はまだ任意団体として活動をしていたころだったと記憶しております。

平野理事長様の『防犯設備士のための防犯設備士による防犯設備士の協会』という強い志に非常に感銘を受け、若輩の身であるにも関わらず理事という重職の話を頂いたときには二つ返事で是非やらせて頂きたいとお願いをしました。

協会での最初の大仕事は、当時検討が進められていた「防犯優良マンション登録認定制度」の認定機関としての登録を受ける為に、その条件として「特定非営利活動法人」の資格を得ることでした。何度も、何度も役員会を開き規定、規範の作成を致しました。私自身、一つの法人を立ち上げるということは初めてのことであり、現理事の皆さんには教えて頂くことが多く、毎日勉強、勉強の日々でした。

そして、協会が「特定非営利活動法人」として認可された時には、子供が誕生するような喜びと感動があり、立ち上げに携えて私自身の人生において大きな自信にもなりました。その後、「防犯優良マンション登録認定制度」の認定機関への認定を受ける為に理事会にて熱い議論を交わし、ようやく協会の一つの目的であった認定機関として登録ができ、現在に至っております。

今後は、地域により根ざし行政、諸団体と連携をしながら協会のスローガンである『防犯のことなら何でも神防設』を県民の間に広がっていくよう、平野理事長を先頭に理事、会員が一丸となり神奈川県での犯罪減少に一躍担えるよう活動を更に発展させて行きたいと思っております。

私が、所属しております日本アラームも35年という節目を終えようとしております。36年目という年は、当社にとっても『変化』を求められる年ではないかと思えます。年々犯罪は減少しておりますが、国民の体感治安は増加の一途をたどっております。外国人犯罪、凶悪事件の増加と今日、テレビをつけると毎日のように物騒な事件が報道されております。

私が、セキュリティ業界に足を踏み入れたときには、まだまだ今日のように監視カメラやホームセキュリティが普及されていませんでした。現在では、街のあちらこちらに監視カメラが設置され、住宅街を歩くとホームセキュリティが設置されている住宅が増えました。時代とともに、各機器もIP化が進み、各メーカー様のご努力によりハイテクな機器が毎日のように生み出されております。

私共、販売会社と致しましても今や日々努力と勉強が必要であり、IP化となっている機器をより犯罪抑止への効果的なシステム設計を生み出さなければならず、社員が一丸となって議論を交わしております。まさに『変化』が求められる時期であると思えます。

まだまだ業界経験も浅く、若輩の身ではありますが犯罪撲滅に貢献できるよう日々精進をしていきたいと思っております。

最後となりますが、日ごろ大変お世話になり、ご指導、ご鞭撻を頂いております日本防犯設備協会のスタッフの皆様、神奈川県防犯設備士協会の理事・会員の皆様、また一緒に汗を流し議論を交わさせて頂いているメーカー各社様、同じ目標を共有して会社発展に努力している日本アラームの仲間がこの場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

これからも、変わらぬご指導、ご鞭撻を頂けます様宜しくお願い申し上げます。  
ありがとうございました。